

令和4年度

高知県優良建設工事施工者表彰

受賞者名簿

令和4年9月15日

高 知 県

高知県知事賞

【高知県知事賞】受賞者一覧

受賞者	代表者	現場代理人	監理・主任技術者	工事番号 工事名	工事場所	工事概要
有限会社 磯部組 安芸郡奈半利町乙 3781-1	磯部 英俊	山田 太一	主任技術者 元久 卓	道改国第 1-56 号 国道 493 号(北川道路) 道路改築工事	安芸郡 北川村 和田	施工延長 L=255m 大型ブロック積 A=706m ² 練ブロック積 A=74m ² 重力式擁壁 V=198m ³ 逆 T 型擁壁 V=37m ³
新進建設 株式会社 高知市九反田 5-8 株式会社 大谷興産 高知市春野町内ノ谷 2166-1	小川 裕司 大谷 倫古	中島 啓介	監理技術者 藤原 真也 主任技術者 多田 浩明	連携第 2-10 号 舟入川 事業間連携工事	高知市 高須本町	施工延長(左岸) L=238.2m 鋼矢板Ⅲw 型 (L=17.0 ~ 17.5m) N=340 枚 笠コンクリート (800×500×2000) L=238m 仮橋・仮橋橋工 W=8.0m L=173.0m
株式会社 谷淵組 高知市南久万 29-2	谷淵 成	伊與木 康	監理技術者 谷淵 秀二	災関治山第 901-6 号 市宇災害関連緊急治山工事	香美市 物部町 市宇	山腹工 0.60ha 土留工(生コン) 2 基 25.5m のり枠工(簡易吹付) 5,166.28m ² 仮設工 1 式 モルタル吹付工 380.27m ² 植生基材吹付工 235.58m ²
株式会社 富士建設工業 高知市介良甲 924-1	田内 直人	奥村 英利	監理技術者 山本 純平	3 か年第 30-3 号 志奈祢川 3 か年緊急対策工事	高知市 一宮	施工延長 L=28m(河川改修及び道路新設・改築) コンクリートブロック積 A=60m ² 新設仮橋設置・撤去工 L=16.5m 既設仮橋撤去工 L=15m 構造物撤去工 N=1 式 土留仮締切矢板工 N=93 枚 橋梁上部工(PC橋) L=17m 橋梁下部工(橋台工) N=1 基 アスファルト舗装工 A=301m ²
有限会社 森木組 吾川郡いの町 4972-1	森木 正一	横山 浩二	主任技術者 保木 龍一郎	道交地防安(交安) 第 401-016-4 号 県道土佐伊野線 防災・安全交付金工事	吾川郡 いの町 大内	施工延長 L=93m 軽量盛土工 V=526m ³ 盛土工 V=974m ³ かご枠工 1.0 式 地覆工(PCガードレール基礎) L=52m 防護柵工(転落防止兼用ガードパイプ) L=51m 排水構造物工 1.0 式

【高知県知事賞】

道改国第1-56号

国道493号(北川道路)道路改築工事

有限会社 磯部組



【表彰理由】

地域高規格道路阿南安芸自動車道を構成する北川道路2-2工区の盛土区間の道路改良工事である。同時に稼働している近接工事6社との連携調整や大規模盛土における品質確保が課題となっていた。本工事に必要な工事用道路の移設にあたっては、3次元設計モデルを作成することで経済性、施工性、走行性に配慮した計画を立案し、事業全体の進捗を妨げることなく、積極的な工事間調整を行っている。また、トンネル掘削で搬出された破碎岩や土砂が混在している盛土材の使用にあたっては、盛土材の選別機械や破碎機械を使用するなど、盛土工の品質確保の工夫が顕著であった。さらに、地域住民とは「工事だより」やSNSを通じて良好な関係を築くとともに、小学生や高校生を対象としたドローンやICT建設機械の操縦体験を実施するなど、建設業の担い手確保のための取り組みにも努めている。

【高知県知事賞】

連携第2-10号

舟入川事業間連携工事

新進建設 株式会社/株式会社 大谷興産



【表彰理由】

舟入川左岸の護岸耐震補強工事である。住宅と近接した市街地河川であることから、近接住民、歩行者、通行車両等への配慮や、工期短縮が大きな課題となっていた。水中部での矢板施工において、三次元データを活用し、簡易な作業で正確な出来形確認を行う工夫や、施工班を増やし上下流からの施工提案を行うなど、工期の短縮を図っている。また、通行止めが必要であった工事区域内の歩道橋の交通量調査により規制時間を決定し、周辺施設等には事前に丁寧な説明を行うことで苦情もなく工事を完成させている。さらに、地域住民とのコミュニケーション活動として、定期的な清掃や仮橋を利用した花火イベントを実施したことが報道機関等でも紹介され、建設業のイメージアップにも繋がった。

【高知県知事賞】

災関治山第901-6号
市宇災害関連緊急治山工事

株式会社 谷渕組



【表彰理由】

令和元年7月豪雨により被災した崩壊斜面の復旧を行う治山工事である。崩壊土砂や風倒木の残る高低差約225mの斜面での吹付工事であったため、作業員の安全確保や構造物の品質確保、さらには、斜面直下を通る国道195号の通行車両に対する安全確保が課題となっていた。倒木処理においては、高性能林業機械により集積や切断作業を行うことで作業員の危険回避や施工性の向上に努め、法面整形工においては、無人掘削機を利用することで作業員の負担を軽減し、作業日数の短縮を図っている。また、吹付工では、セパレートショット工法の実施により、高低差のある過酷な斜面での施工を克服した。加えて、自社独自のケーブル架設方法により、国道上空を横断するケーブルクレーン架設を回避し、通行者の安全を確保した。

【高知県知事賞】

3か年第30-3号
志奈祢川3か年緊急対策工事

株式会社 富士建設工業



【表彰理由】

県道、市道、私道が複雑に交差する市街地での河川拡幅工事(橋梁架替工事)である。交通量が多くバス路線にも接していたため、近隣住民や道路利用者の利便性を確保できる施工方法が課題となっていた。このような課題に対して、河川内の仮設計画や道路上で行う橋桁の吊り込み方法に対する提案があり、県道の通行制限を回避することができた。また、橋梁部の地覆コンクリートの品質を確保するため、ひび割れを抑制する誘発目地の設置し、デジタル温度計を用いてコンクリート内部と外部の温度をリアルタイムに確認しながら打設・養生を行い、品質、出来映えともに良好な構造物を作り上げた。さらに、近隣住民への工事ニュースの定期的な配布、濁水処理フィルターの設置による河川の環境対策、高校生インターンシップの受け入れなどを積極的に行い、公共工事への理解とイメージアップに貢献した。

【高知県知事賞】

道交地防安（交安）第 401-016-4 号
県道土佐伊野線防災・安全交付金工事

有限会社 森木組



【表彰理由】

県道土佐伊野線における仁淀川堤防道路と鎌田用水に挟まれた区間の道路改良工事である。全体的に狭小な作業ヤードにおける盛土工の出来形、品質及び安全を考慮した施工方法や、周辺住民、通行者への配慮、近接工事との連携調整が課題となっていた。ICT活用工事の内製化にチャレンジし、3次元起工測量・設計、ICT建機による施工、3次元出来形管理・納品までを自社で実施している。ミニバックホウを使用したICT施工により、狭小な箇所での重機による敷均しと搭乗式ローラーでの転圧作業を同時に行い、作業人員を削減し工期を短縮した。また、盛土工の施工では、転圧システム搭載の振動ローラーにて転圧回数の正確な把握を行い、均一で良好な盛土を構築した。さらに、地域の清掃活動やボランティア活動への参加や、週休2日制の導入により労働環境の改善、工事車両による騒音の軽減や通行者への配慮を行った。

優良賞

【優良賞】受賞者一覧

受賞者	代表者	現場代理人	監理・主任技術者	工事番号 工事名	工事場所	工事概要
株式会社 石建組 安芸市土居 12-1	石建 勝	植田 孝行	主任技術者 畑山 清志郎	道交地 (1.5 車) 第 9103-002-1 号 県道大久保伊尾木線 社会資本整備総合交付金工事	安芸市 入河内	施工延長 L=210m 1号重力式擁壁 V=41m ³ 2号重力式擁壁 V=160m ³ 排水構造物工 (高密度ポリエチレン管) L=110m 仮設防護柵 L=123m 盛土工 V=4100m ³
尾崎建設 株式会社 高知市八反町二丁目9番8号	尾崎 徹哉	山中 淳雄	主任技術者 山中 淳雄	道交地防安 (改築) 第 9102-014-002 号 県道南国伊野線 防災・安全交付金工事	高知市 領家	施工延長 L=171m コンクリートブロック積工 A=715m ² 側溝工 L=140m 路側防護柵工 L=89m アスファルト舗装工 A=757m ²
尾崎建設 有限会社 吾川郡いの町駅前町210番地	尾崎 博	三谷 幸雄	主任技術者 三谷 幸雄	床上第 1-7 号 宇治川 (天神ヶ谷川) 床上浸水対策特別緊急 (その19)工事	吾川郡 いの町 枝川	歩道橋下部工 (逆T式橋台) 2基 (A1・A2) コンクリートV=58m ³ 鉄筋組立 2.05t 土工 床堀 V=231m ³ 埋戻 V=127m ³ 回転式圧入鋼管杭 A1 N=4本 A2 N=6本 (φ500・ΣL=135.5m) 鋼矢板圧入引抜 A1橋台 (SP-3)L=12m N=46枚 A2橋台 (SP-4)L=15m N=54枚
株式会社 晃立 高知市桜馬場 8 番 20 号	嶋崎 勝昭	中澤 智識	監理技術者 田邊 博則	道交国 (改築) 第 8109-010-105 号 国道 494 号 社会資本整備総合交付金工事	高岡郡 佐川町 川ノ内組	P1 橋脚基礎 (柱状体深礎杭) N=1 基 仮橋 L=69.0m 補強土壁基礎 L=6.0m
株式会社 山興 高岡郡津野町北川 2266 番地 2	河野 一郎	二神 貴登	主任技術者 土釜 禎太郎	環自第 26-4 号 カルスト学習館 再整備外構工事	高岡郡 津野町 芳生野乙 4921-48 外	多目的駐車場 (既設改修) A=62m ² 駐車場 (新設) A=370m ² 歩道開設 L=33m 天狗荘連絡道 L=20m 休憩所整備 A=77m ²

【優良賞】受賞者一覧

受賞者	代表者	現場代理人	監理・主任技術者	工事番号 工事名	工事場所	工事概要
<p>四国開発 株式会社 高知市日の出町2番12号</p> <p>大勝建設 株式会社 香南市野市町東野1471-1</p>	<p>久米 慶典</p> <p>高橋 正秀</p>	<p>土居 弘典</p>	<p>監理技術者 横川 博之</p> <p>主任技術者 溝渕 耕一郎</p>	<p>南国日章(債)第2号 (仮称)南国日章工業団地 団地整備工事</p>	<p>南国市 物部、 田村、 立田</p>	<p>本工事1(本体造成工)造成工 1式(A=16.0ha) 一時貯留池 側壁工(擁壁)V=1,303m³、 側壁工(平張ブロック)A=1,500m² 本工事2(市道日章工業団地線)L=275m W=12m 本工事3(市道王子大道線)L=364m W=6m 本工事4(市道南国117号線)L=393m W=6m 本工事5(管理道)L=1,699m W=4~5m</p>
<p>ジョウトク建設 株式会社 南国市前浜743番地1</p> <p>株式会社 津島工業 高知市大谷公園町20番23-13号</p>	<p>常德 和也</p> <p>山崎 一徳</p>	<p>吉田 新也</p>	<p>監理技術者 吉田 新也</p> <p>主任技術者 小松 伸也</p>	<p>連携第 2-7 号 舟入川事業間連携工事</p>	<p>高知市 高須本町</p>	<p>施工延長(左岸) L=317.5m 鋼矢板Ⅲw型(L=13.0~19.0m) N=269枚 笠コンクリート(800×500×2000) L=207m 捨石工 V=1638m³ 仮橋・仮栈橋工 設置L=113.5m 撤去L=328.2m</p>
<p>株式会社 清水新星 高知市池1402番地</p> <p>啓大建設 有限会社 高知県高知市長浜4550</p>	<p>清水 映至</p> <p>武田 圭吾</p>	<p>竹村 稔</p>	<p>監理技術者 竹村 稔</p> <p>主任技術者 岡林 良</p>	<p>連携第 2-6 号 舟入川事業間連携工事</p>	<p>高知市 新木本町</p>	<p>施工延長(左岸)L=75.7m 鋼矢板Ⅲw型 L=17.5m N=90枚 鋼矢板Ⅲw型 L=18.0m N=36枚 笠コンクリート(800×500×2000) L=70.0m 仮栈橋工 1式</p>
<p>株式会社新創 高知市仁井田 1631 番地 8</p>	<p>小松 千代喜</p>	<p>岡上 哲久</p>	<p>監理技術者 徳平 長彦</p>	<p>連携第 2-5 号 舟入川事業間連携工事</p>	<p>高知市 高須本町</p>	<p>施工延長(左岸) L=261.6m 鋼矢板Ⅲw L=17.0m N=180 枚 鋼矢板Ⅲw L=18.5m N=168 枚 鋼矢板Ⅲw L=17.5m N=23 枚 笠コンクリート L=230m</p>
<p>杉本土建 株式会社 高岡郡梶原町下西の川 55</p>	<p>杉本 貞雄</p>	<p>森田 晃次</p>	<p>主任技術者 市川 剛史</p>	<p>道交国防安(耐震) 第 121-100-0806 号 国道197号 防災・安全交付金(桃ノ木大橋)工事</p>	<p>高岡郡 津野町 白石</p>	<p>桃ノ木大橋 (L=74m) 橋脚コンクリート巻立て工 V=238m³</p>

【優良賞】受賞者一覧

受賞者	代表者	現場代理人	監理・主任技術者	工事番号 工事名	工事場所	工事概要
<p>須工ときわ 株式会社 高知市潮新町2丁目12番32号</p> <p>南国建興 株式会社 高知県南国市十市3149</p>	<p>國藤 浩史</p> <p>鍋島 英典</p>	藤田 龍太郎	<p>監理技術者 三好 智</p> <p>主任技術者 館山 隆次</p>	<p>連携第 2-1 号</p> <p>舟入川 事業間連携工事</p>	高知市 高須本町	<p>施工延長 L=191.4m</p> <p>矢板護岸工</p> <p>鋼矢板圧入 IIIw型 L=17.0m(L=15.25m) N=114枚</p> <p>鋼矢板圧入(WJ併用)IIIw型 L=19.0m(L=17.25m) N=205枚</p> <p>笠コンクリート工(800×500) L=150m N=75個</p> <p>仮設工</p> <p>仮橋・仮栈橋工 L=214.8m W=8.0m</p> <p>支持杭打込 H-400 N=108本 覆工板設置 A=1717m²</p>
<p>大旺新洋 株式会社 高知市仁井田1625-2</p>	小西 啓太	山岡 寧光	<p>監理技術者 宮本 俊二</p>	<p>港改修第 01-01-2 号</p> <p>高知港改修(重要)工事</p>	高知市 三里	<p>本工事1 東第二防波堤 L=11.8m</p> <p>本土工 L=11.6m(既設RCケーソン流用 N=1両)</p> <p>基礎工 L=11.8m(基礎捨石 V=1159m³)</p> <p>被覆・根固工 L=11.8m(ブロックN=108個、方塊N=9個)</p> <p>上部工 L=47.6m(コンクリート V=498m³)</p> <p>消波工 L=62.6m(ブロック流用 N=141個)</p> <p>本工事2 桂浜簡易係留施設(-1.0m)整備</p> <p>本土工 N=1式</p>
<p>有限会社 武政建設 香美市物部町大栃 1454-1</p>	小原 千典	福島 林太郎	主任技術者 寺田 拓也	<p>道交国(改築) 第 9402-002-2 号</p> <p>国道 195 号社会 資本整備総合交付金工事</p>	物部町 大栃	<p>■国道部(国道 195 号)L=122.0m</p> <p>・擁壁工 場所打擁壁 V= 22.0m³</p> <p> L型擁壁 L= 18.0m</p> <p>・排水構造物工 L= 174.8m</p> <p>・踏掛版工 V= 18.0m³</p> <p>・舗装工 As 舗装 A=1482.0 m²</p> <p> AS 安定処理 A=2651.0 m²</p> <p>・道路付属施設工 1.0 式</p> <p>■県道部(県道大豊物部線)L=76.3m</p> <p>・排水構造物工 L=126.0m</p> <p>・防護柵工 L= 14.0m</p> <p>・舗装工 As 舗装 A=658.0 m²</p> <p> Con 舗装 A= 17.0 m²</p> <p>・道路付属施設工 1.0 式</p>
<p>日成土木 株式会社 高知市西塚ノ原83-17</p>	高橋 和宏	高橋 秀崇	主任技術者 岡本 徳俊	<p>緊改砂(総中)第 105-3 号</p> <p>行川川砂防設備等 緊急改築工事</p>	高知市 行川	<p>砂防堰堤改築</p> <p>鋼製スリット N=1 基</p> <p>砂防ダム工 コンクリート V=392 m³</p>

【優良賞】受賞者一覧

受賞者	代表者	現場代理人	監理・主任技術者	工事番号 工事名	工事場所	工事概要
有限会社 丸共工業 安芸市 井ノ口乙 409 番地 6	横井 潔	阿部 勝	主任技術者 阿部 勝	30 災第 980-2 号 県道大久保伊尾木線 道路災害復旧工事	安芸市 古井(9)	道路災害復旧延長(河川兼用護岸) L=38.7m 掘削 V=2524m ³ 、盛土 V=1050m ³ 、 残土運搬 V=1380m ³ もたれ式擁壁 V=1821m ³ 練石積 A=94m ² ガードレール設置 L=54.6m 仮設用モルタル吹付 A=649m ² 鉄筋挿入(ロックボルト) L=526m 仮設道路 L=350m
有限会社 水田建設 香南市野市町西野 796-5	水田 守	西岡 幸二三	主任技術者 西岡 幸二三	道交地防安(交安) 第 401-010-2 号 県道南国インター線 防災・安全交付金工事	南国市 下末松	施工延長 L=38.0m 掘削工 V=460m ³ ボックスカルバート L=20m 張出歩道 V=1m ³ 縁石工 L=9.4m 重力式擁壁 V=50m ³ 自由勾配側溝 L=17m 構造物撤去工 V=143m ³ 自立式土留 鋼矢板圧入 N=59 枚 仮設舗装 A=500m ² 洗堀防止 袋詰玉石(2t 用) N=5 袋
ミタニ建設工業 株式会社 高知市針木東町27番28号 福留開発 株式会社 高知市南宝永町19番11号	三谷 剛平 大場 将史	小森 和明	監理技術者 池 英生 主任技術者 吉良 太一	連携第 4-1 号 介良川事業間連携工事	高知市 五台山	施工延長 L=223.0m 鋼矢板 IVw型 N=366枚(L=27.4m~28.4m) 笠コンクリート L=220.4m
株式会社 三谷組 高知市中宝永町5番21号	三谷 修一	宮地 敏之	監理技術者 西森 勇志	連携第 3-4 号 下田川 事業間連携(その2)工事	高知市 五台山	施工延長 L=252.2m 鋼矢板HAT-25H型(11.0m) N=253枚 場所打擁壁工 L=100.2m(V=272m ³)
山本建設 株式会社 高知県幡多郡黒潮町佐賀 2988 番地	山本 浩司	打井 幸一	監理技術者 伊勢脇 祐花	道交地防安(1.5 車) 第 9103-041-1 号 県道秋丸佐賀線防災・ 安全交付金工事	幡多郡 黒潮町 川奥	道路改良 施工延長 L=123.3m 掘削工 V=2,310m ³ ポット苗植栽工 N=2,298 本 場所打擁壁工 V=339m ³
株式会社 横山 工業 高知県吾川郡いの町西町 100 番地	横山 初恵	國行 耕征	主任技術者 伊東 鉄平	3 か年第 26-9 号 奥田川3 か年緊急対策工事	吾川郡 いの町 八田	施工延長 L=378m 護岸工(かごマット(多段積型)) A=337m ² 排水工(左岸 11 号) N=1 箇所 階段工 N=1 箇所

【優良賞】

道交地（1.5車）第9103-002-1号
県道大久保伊尾木線社会資本整備総合交付金工事

株式会社 石建組



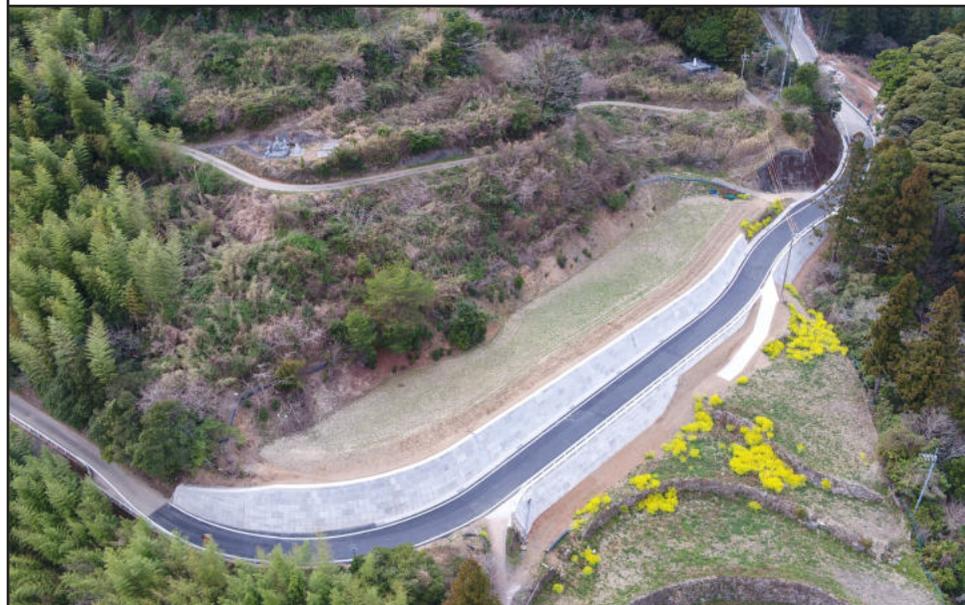
【表彰理由】

県道大久保伊尾木線における道路改良工事である。施工箇所は山間部に位置した地域住民の生活道路であり、バスの運行や近くの廃棄物処理場への大型車両さらに、平成30年7月の西日本豪雨による災害復旧工事の工事車両の運行が多い状況にある。このため、現道上での作業の安全確保や山側への仮設防護柵設置に伴う第三者事故及び労働災害の防止、また、本工事であるコンクリート構造物の施工の効率化や盛土工の品質確保が課題であった。ICT活用工事の内製化にチャレンジし、3次元測量ではGPSの受信状態からUAV機に後処理方式高精度測位システムを搭載することで、作業時間の短縮及び精度の高い測量を実現させ、盛土工にもICT技術を活用することで作業効率の向上が図られた。現道交通の安全確保にはGPS信号機の設置を行い、工事車両にはドライブレコーダーを搭載し運転手の意識向上を図ることで交通トラブルもなく無事故で工事を完成している。

【優良賞】

道交地防安（改築）第9102-014-002号
県道南国伊野線防災・安全交付金工事

尾崎建設 株式会社



【表彰理由】

県道南国伊野線での高知市鏡地区と高知市北部を結ぶ1.5車線の道路整備事業である。幅員が3m程度と狭いうえに、前後の待避所間が離れており、小型車のすれ違いも出来ない状況であるが、近隣には生姜農家が点在していることや朝晩の通勤車両も多く、施工に必要な長期時間通行制限による通行車両への影響が課題であった。ICT土工の完全内製化により、作業効率の向上が図られ、大幅な工期の短縮を実現した。また、現場条件に適したコンクリートの打設量を計画するなど、工事進捗を図るための取り組みや適切な工程管理を行うとともに、地元住民への柔軟で丁寧な対応、安全管理への工夫を実施し、無事故で工事を完成させた。

【優良賞】

床上第1-7号

宇治川（天神ヶ谷川）床上浸水対策特別緊急（その19）工事

尾崎建設 有限会社



【表彰理由】

宇治川（天神ヶ谷川）の床上浸水対策に伴う歩道橋架替工事である。現場は、とさでん交通電車軌道、国道33号が近接し、施工方法に制約があるうえに軟弱地盤であった。また、狭隘であるため、橋台の出来形、品質の確保や電車、歩行者の安全確保、夜間工事に伴う周辺住家への振動、騒音の影響が課題となっていた。矢板施工においては、事前調査を追加し、正確な支持層を正確に把握、狭隘で施工が困難な型枠工や支保工に工夫を凝らした。また、3次元図面を作成し、作業員全員で完成形を共有したうえで施工管理を行うことで、計画値での橋台施工を可能とした。また、コンクリート打設時には透明型枠を使用し内部の締め固め状況を確認するなどした結果、高品質な出来ばえとなった。周辺住民に対しては、事前の工事ニュースの配布や、振動騒音を測定確認することにより、苦情もなく完成させた。

【優良賞】

道交国（改築）第8109-010-105号

国道494号社会資本整備総合交付金工事

株式会社 晃立



【表彰理由】

国道494号佐川～吾桑バイパスにおける道路改良工事である。この現場は、上部には国道494号（現道）の狭隘部、下部には民間企業の工業用水施設等があり、それらに挟まれた制約が多い急峻な地形に加え、河川支川の谷間部に位置する厳しい施工条件であり、仮橋支持杭と既設橋台埋戻部の干渉や近接施設への影響として、橋脚基礎杭施工時の湧水及び濁水対策などが課題となっていた。干渉対策としては、多角的な視点により対策工法を提案し干渉を回避。掘削方法や機械の作動方法を工夫することで近隣施設への影響を回避した。また、基礎杭施工時には、湧水対策を事前に想定し遮水層を形成したことや、掘削面下部に調査ボーリングを実施し、地質条件を事前把握したことで孔壁内の安定、作業の安全を確保した。さらに、ICT測量技術の活用により、支持杭及び基礎工の作業時間を短縮するとともに、安全かつ高い品質を確保した施工を実現した。

【優良賞】

環自第26-4号
カルスト学習館再整備外構工事

株式会社 山興



【表彰理由】

四国カルスト県立自然公園内の外構工事である。このことから、この現場では景観に配慮した施工方法や材料の選択が特に求められる。盛土法面の保護となる巨石張工の施工では、庭園工事に精通する高度な技術力と高い感性を発揮して、カルスト独特の自然環境に融和した景観を実現した。また、当初設計における歩道の舗装工法の採用が困難となった際にも、施工が容易で、かつ、自然景観に配慮した別工法を自主的に提案した。さらに、産業廃棄物として処分する予定であった廃材を有効活用する等、工事期間を通して良質な成果物を確保しようとする現場技術者としての取り組みが顕著であり、過酷な気象条件を克服し工事を完成させている。

【優良賞】

南国日章(債)第2号
(仮称)南国日章工業団地 団地整備工事

四国開発 株式会社/大勝建設 株式会社



【表彰理由】

県道高知空港線の北側に位置する11.3haの広大な造成工事である。現場周辺には人家が近接しており、工事中における現場内を横断する生活道の通行の確保、また、12本に分岐する用水の確保、さらに多種多様な工種の立会等を遅延なく行うこと、複雑な排水施設の精度の高い施工管理が課題となっていた。このため、綿密な施工計画を策定し、官公庁や地域住民、耕作者との調整を行い、場内を6分割施工とすることで、迂回路の確保、用水の切り替えや水量確保を行い、また、工期短縮の工夫により無事故で工事を完成させた。さらに、遠隔臨場の活用により立会等の遅延を無くし、3次元データを活用することで、精度の高い構造物を構築した。関係者が多い中、丁寧な地元説明を行い、問題点を事前に把握し施工することで、苦情もなく工事を完成させた。

【優良賞】

連携第2-7号
舟入川事業間連携工事

ジョウトク建設 株式会社/株式会社 津島工業



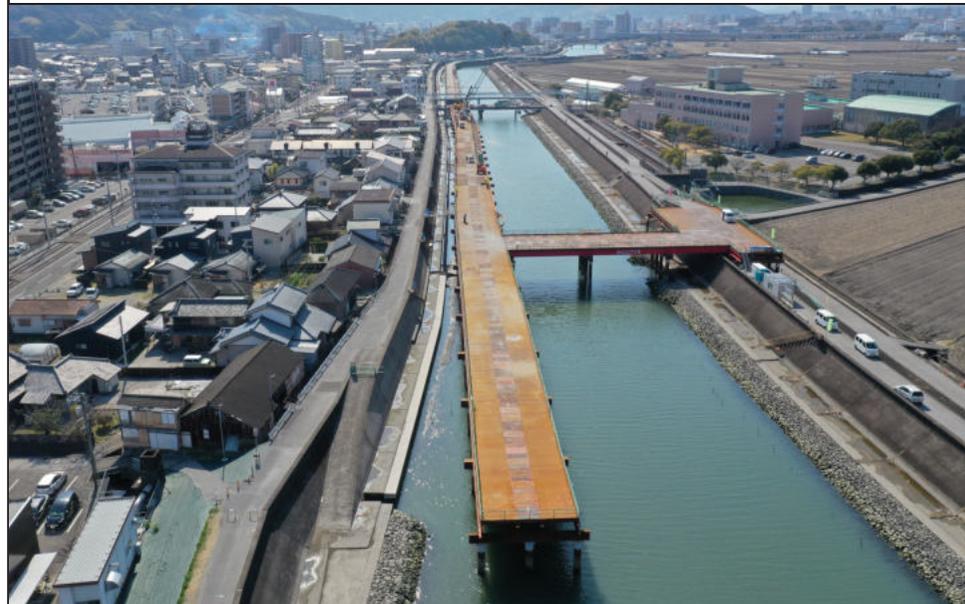
【表彰理由】

舟入川左岸の護岸耐震補強工事である。市街地河川で住家と近接し、また、事業効果の早期発現のため、複数業者からなる同時期施工となっており、重複する施工業者との連携や工程調整、また、捨石工及び仮栈橋の撤去作業に伴う騒音、振動による地域住民への影響が大きな課題となっていた。騒音、振動に対し、都市型高周波バイブロハンマーの採用や捨石工搬入時のサンドクッションの設置を行い、周辺への影響を軽減させ、また、関係各社との綿密な連携を図ると同時に、地域住民との対話や仮栈橋を活用した花火大会を企画するなど地域貢献活動を積極的に行っている。さらに、汚濁防止フェンスの同時施工や矢板打継ぎ箇所の工夫を行うことで工期短縮を図り、また、潮位の影響を考慮し、笠コンクリートを水中コンクリートで施工するなど、品質確保にも務めた。

【優良賞】

連携第2-6号
舟入川事業間連携工事

株式会社 清水新星/啓大建設 有限会社



【表彰理由】

舟入川左岸の護岸耐震補強工事である。市街地河川で住家と近接し、また、事業効果の早期発現のため、複数業者からなる同時期施工となっており、近接住民や歩行者、通車両行への配慮、近接施工業者との連携、工程調整が大きな課題となっていた。このような状況の中、他工事の工程に影響の大きい渡河栈橋の設置位置の変更提案や仮栈橋施工方法の変更提案を行い、大幅な工期の短縮を実現し、本工事のみならず他工事の工期短縮にも貢献している。また、周辺住家や護岸への影響を考慮し、コンクリート破碎時にはウォールソー工法及びコア削孔工法を採用することで周辺への悪影響を回避した。地域住民への積極的なコミュニケーション活動として、定期的な清掃や仮栈橋を活用した花火イベントを企画するなど建設業のイメージアップに貢献している。

【優良賞】

連携第2-5号

舟入川事業間連携工事

株式会社 新創



【表彰理由】

舟入川左岸の護岸耐震補強工事である。市街地河川で住家と近接し、また、事業効果の早期発現のため、複数業者からなる同時期施行となっており、近接住民や歩行者、通車両行への配慮、近接施工業者との連携、工程調整が大きな課題となっていた。水中部での矢板施工においては、3次元データを活用し簡易作業で正確な出来形確認を行う工夫や、矢板の継溶接に溶接技術者を選任し、事前に溶接試験を行うことで一定の品質や良好な出来形を確保し、安全に工事を完成させた。地域住民への積極的なコミュニケーション活動として、定期的な清掃や仮栈橋を活用した花火イベントを企画するなど建設業のイメージアップに貢献している。

【優良賞】

道交国防安（耐震）第121-100-0806号

国道197号防災・安全交付金（桃ノ木大橋）工事

杉本土建 株式会社



【表彰理由】

国道197号に架かる桃ノ木大橋の巻立てコンクリートによる耐震補強工事である。供用中の橋脚（ハイピア）であることに加え、家屋や畑が近接していることから作業ヤードが非常に狭いことや、施工時期によるコンクリートの凍害等のリスクなどが想定されたため、作業効率の向上、品質の確保、工期内の工事完成が課題であった。地元住民との丁寧な協議により、重機の作業スペースを確保し、既設橋脚の下地処理にバキュームブラストを導入することで工期の短縮のみならず騒音や振動の低減を図った。工事の進捗により、コンクリートの脱型時期や十分な養生期間を設け、また、スパイラル型内部振動機の使用や養生方法に工夫を凝らし、出来形の良い高品質な仕上がりになっている。

【優良賞】

連携第2-1号

舟入川事業間連携工事

須工ときわ 株式会社／南国建興 株式会社



【表彰理由】

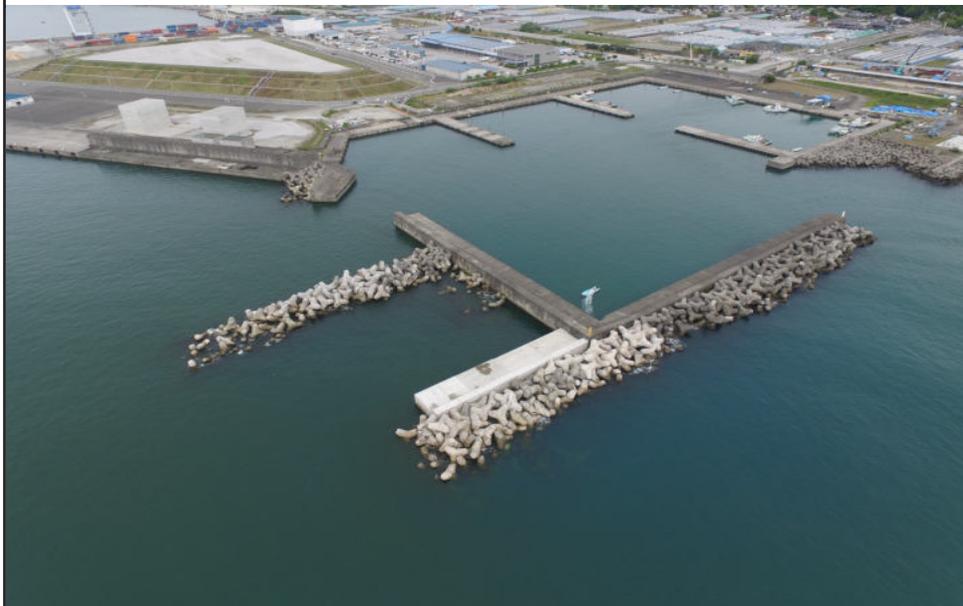
舟入川左岸の護岸耐震補強工事である。市街地河川で住家と近接し、近接住民や歩行者、通車両行への配慮また、施工中の騒音、振動に対する配慮が大きな課題となっていた。騒音、振動対策として、施工には都市型高周波パイプハンマーを、矢板吊り込み時にはパイルローラを採用し、地域住民への影響を軽減した。また、矢板継手部の腐食対策を行うなど、品質確保にも努めた。地域とのコミュニケーション活動として、定期的な清掃や工事ニュースの配布、通勤通学時の交通安全活動の実施など、地域住民との良好な関係性を構築し、苦情なく工事を完成している。

【優良賞】

港改修第01-01-2号

高知港改修(重要)工事

大旺新洋 株式会社



【表彰理由】

高知新港における東第二防波堤の延伸工事である。本工事は、新港東船溜まりの港口切り替えのため、既設ケーソンを撤去し、東第二防波堤整備に再利用するといった特殊な工事内容であった。既設ケーソンは設置後約20年が経過しているため、上部工の撤去やケーソンの浮函・えい航・据付け作業時には、ケーソンに損傷を与えないよう特に注意が必要であったが、施工前調査を行い、必要最小限で安全に施工できる提案をするなど、丁寧かつ慎重な作業により、無事に移設を完了させた。また、桂浜の係留施設については、地域アクションプランにも位置づけされており、早期に完成させる必要があったが、工程管理を適切に行い期限内に工事を完成させ、早期の供用開始に結びつけた。

【優良賞】

道交国（改築）第 9402-002-2 号
国道 195 号社会資本整備総合交付金工事

有限会社 武政建設



【表彰理由】

大桁橋の架け替えに伴う国道195号の交差点改良工事である。近隣には商業・公共施設があり、観光客や地域住民が日常的に利用しているため、道路交通への影響を最小限に抑えることが課題であった。また、建設業の担い手を確保するため、デジタル技術を活用した若手技術者の育成も目標とした。UAVと地上レザースキャナーを活用し、橋梁取合部や交差点部の複雑な道路状況を三次元モデル化することで、交通規制や現道の迂回方法、歩行者の安全確保、仮設備の配置計画をシュミレーションするなど、デジタル技術を活用した取り組みが顕著であり、安全な現場施工を実現した。また、これらの取り組みを通じて、若手技術者の指導育成を積極的に行っている。さらに、地域住民には、挨拶やマナーを忘れず、積極的にコミュニケーションを図り、自社HPや工事広報誌を通じて公共工事に対する理解や建設業のPRにも務めている。

【優良賞】

緊改砂（総中）第 105-3 号
行川川砂防設備等緊急改築工事

日成土木 株式会社



【表彰理由】

行川川における既設砂防堰堤の改築工事である。湯水期での施工における工程管理や冬期のコンクリートの品質確保、急斜面における正確な現況測量や出来形管理、近隣の小、中学校や地域住民等の道路利用者への対応が課題であった。当初は支保工を組み立て高密度ポリエチレン管を利用した仮排水設備を設置する予定であったが、管接続部材の供給が全国的に逼迫していることや、仮排水設備の切替えに時間を要することから、大型水中ポンプに変更することで、大幅に工期を短縮した。また、三次元設計データの内製化にも取り組み、冬期におけるコンクリートの打設には加熱養生シートを使用するなど、出来形及び品質の確保に努めた。さらに、横断幕を利用した工事内容の周知や近隣の小中学校生への現場見学会を開催し、公共工事のPRにも努めている。

【優良賞】

30 災第 980-2 号
県道大久保伊尾木線道路災害復旧工事

有限会社 丸共工業



【表彰理由】

平成30年7月西日本豪雨により被災した県道大久保伊尾木線における道路災害復旧工事である。被災現場の路側は急斜面であり、一部には崩積土が堆積し、再度崩壊の危険性もあった。また、現道以外に迂回路は無く、現場上流では数多くの災害復旧工事が施工されていたため、一般利用者の交通確保に合わせて、工事車両の通行のための現道確保や地元漁協との調整が課題となっていた。これらのことから、路側法面崩壊防止及び仮設道路設置に際しては、リサイクルブロックの使用や掘削法面の吹付コンクリート厚を受注者の提案方法に変更することで、現道交通を確保し安全な施工が行われた。また、三次元測量データを活用することで、さまざまな制約を克服し、精度の高い出来高を確保するとともに、コンクリートの品質向上の工夫を行い、高品質な構造物を構築した。

【優良賞】

道交地防安（交安）第 401-010-2 号
県道南国インター線防災・安全交付金工事

有限会社 水田建設



【表彰理由】

県道南国インター線における道路改良工事である。現場は車両のすれ違いが困難なうえに歩行者や通行車両が多く、また用水としても利用される横堀川が併走し、周辺には民家や店舗、小中学校や長岡温泉などが立地する交差点であった。このため、第三者の安全確保や用水の濁水処理、ボックスカルバート設置時の水処理方法や工程管理、騒音対策が課題となっていた。このような状況の中、CCMP工程により管理することで適切な施工時期を決定し、プレキャスト製品の活用により早期完成を実現した。また、騒音対策として、水替時には商業電力を使用し防音シートを設置、既設橋の取り壊し時にはワイヤーソーを使用することで近隣への影響を低減させるとともに、濁水防止対策としてタンク濾過、エコパイラーの導入による環境対策を行った。さらに、地域とのコミュニケーションを積極的に行い、事故も無く、精度の高い構造物を構築している。

【優良賞】

連携第4-1号
介良川事業間連携工事

ミタニ建設工業 株式会社／福留開発 株式会社



【表彰理由】

介良川の護岸耐震補強工事である。長さ約28mの鋼矢板の精度の高い杭芯の位置出し及び打設、地盤状況による工程への影響が懸念され、どの工種で吸収するかが課題となっていた。また、施工ヤード内には利用ニーズの多い自転車(BMX)練習施設があり、工事期間中の施設の確保も課題となっていた。鋼矢板の施工については、杭打設管理システムを採用し、杭芯位置と傾きを常に自動計測することで、全数で精度の高い出来形管理を実現した。また、矢板上部の笠コンクリートをプレキャストにすることで、建設技能員の不足を補い工期の短縮を実現した。なお、自転車練習施設については、関係機関との協議のうえ、移転を行い、施設の利用を可能としたことで、利用者や関係者より評価を得ている。また、当現場の女性技術者による、女性活躍の取り組みとして、建設業協会PRへの協力を行った。

【優良賞】

連携第3-4号
下田川事業間連携（その2）工事

株式会社 三谷組



【表彰理由】

下田川の護岸耐震補強工事である。市街地河川で住家と近接し、河川沿いには交通量の多い県道土居五台山線、上空には高知南国道路と県道高知南インター線、周辺には学校や保育園もあるため、周辺住民や通学、通園児童、県道利用者への安全や環境対策が課題であった。また、カーブ区間での矢板施工となるため、出来形や出来ばえへの影響、施工中の高潮や洪水対策も課題となっていた。このため、工事の内容をわかりやすく説明した看板の設置や定期的な清掃活動、騒音振動の測定及び防音シートを設置するなどの対応により環境対策に取り組んだ。また、矢板施工においては、ICT技術を活用した、カーブ施工対応システムを導入し、工期の短縮、精度の高い出来形となっている。

さらに、狭小な施工箇所での地盤状況の変化に対しても、迅速な施工計画の立案により、安全に工事を完成させている。

【優良賞】

道交地防安（1.5車）第9103-041-1号
県道秋丸佐賀線防災・安全交付金工事

山本建設 株式会社



【表彰理由】

県道秋丸佐賀線の道路改良工事である。国道56号へ繋がる地域住民の生活道であるが、現場は幅員が狭く、掘削や現場打ち擁壁工の作業効率の低下や品質の確保、また、通行規制による地域住民や利用者への影響が課題となっていた。本工事は、ICT活用工事であり、3次元設計データの作成やICT機械の初期設定等の全てのプロセスを自社で実施している。山間部で衛星の受信レベルが低いことに対しては自動追尾トータルステーションを小型バックホウに装着する技術を導入し、ICT施工を実現させ作業効率の低下を克服した。これにより、生産性の向上が図られ、地域住民や利用者への通行規制による負担を軽減し、遅延することなく工事を完成させた。また、コンクリートの打設においては、アクリル板を用いた試験打設により最適な締固め方法の確認や背面地山への透水シートの設置などの工夫を行い、高品質な構造物の構築を実現している。

【優良賞】

3か年第26-9号
奥田川3か年緊急対策工事

株式会社 横山工業



【表彰理由】

奥田川に護岸を構築する河川改修工事である。工事期間中の大幅な設計変更による施工方法の検討、降雨に伴う作業効率の低下、大型重機や土の運搬に伴う交通災害、軟弱地盤での樋管工の品質確保、かごマット施工に対する精度の高い出来形の確保が課題となっていた。これらの課題に対応するため、ICT活用工事を実施。大型重機をマシンコントロールにより自動化したことに加え、自動追尾トータルステーションによる出来形の二重チェックを行うことにより、精度の高い出来形を確保し、生産性の向上及び工期の短縮を図るとともに交通災害もなく工事を完成させた。また、ひび割れ抑制剤の活用や徹底した打設、養生管理を行い、高品質な樋管工を構築した。かごマットの施工においては、透明型枠を使用することで隙間なく出来ばえの良い仕上がりとなった。さらに、地域住民への工事ニュースの配布や小学校への出前授業などの活動に対して、地域住民、小学校から感謝状を授与された。